



平成 29 年 5 月 10 日

各 位

会社名 元 気 寿 司 株 式 会 社
代表者名 代表取締役社長 法 師 人 尚 史
(コード番号 9 8 2 8 東証 1 部)
問合せ先 経 理 部 長 齋 藤 義 範
(T E L 028-632-5711)

通期業績予想との差異、剰余金の配当 及び特別損失の発生に関するお知らせ

平成 28 年 10 月 28 日に公表した平成 29 年 3 月期の通期業績予想と本日発表の実績に差異が発生いたしましたので、その概要をお知らせするとともに、剰余金の配当及び特別損失の発生について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 通期業績予想との差異（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

(1) 平成 29 年 3 月期通期連結業績予想数値との差異

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株 当 た り 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	34,060	770	630	140	15 86
今 回 実 績 (B)	34,936	1,106	1,033	440	49 85
増 減 額 (B-A)	876	336	403	300	
増 減 率 (%)	2.6	43.7	64.0	214.4	
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 3 月期)	32,318	1,395	1,361	832	94 31

(2) 平成 29 年 3 月期通期個別業績予想数値との差異

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 た り 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	31,210	740	200	22 65
今 回 実 績 (B)	31,792	1,132	516	58 56
増 減 額 (B-A)	582	392	316	
増 減 率 (%)	1.9	53.0	158.5	
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 3 月期)	28,452	1,138	657	74 52

(3) 差異の理由（連結・個別）

連結・個別の業績につきましては、既存店の売上高が堅調に推移したことや、生産性向上の取り組み効果等により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益及び当期純利益が予想を上回りました。

2. 剰余金の配当

(1) 剰余金の配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成28年10月28日公表)	前期実績 (平成28年3月期)
基準日	平成29年3月31日	同左	平成28年3月31日
1株当たり配当金	7円00銭	3円00銭	6円00銭
配当金総額	61百万円	—	—
効力発生日	平成29年6月26日	—	—
配当原資	利益剰余金	—	—

(2) 期末配当予想の修正の内容

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 平成28年10月28日発表	—	3 00	—	3 00	6 00
今回修正予想	—	—	—	7 00	10 00
当期実績	—	3 00	—	—	—
前期実績 (平成28年3月期)	—	0 00	—	12 00	12 00

(3) 理由

当社は株主の皆様への利益還元を経営上の最重要課題の一つと認識しており、株主資本の充実を図るとともに、安定的な配当及び株主優待券の発行を継続して行うことを基本方針としております。

当期の配当につきましては、平成28年10月28日に年間配当予想を1株当たり6円（第2四半期末3円、期末3円）としておりましたが、当期の業績が見通しを上回ったことに伴い、基本方針である配当の継続性を重視するとともに、財政状況及び今後の見通しを総合的に勘案し、期末配当金を1株につき7円とさせていただきます。

なお、本件につきましては平成29年6月23日開催予定の定時株主総会に付議する予定であります。

3. 特別損失の発生及びその内容（連結・個別）

固定資産の減損損失の対象となった店舗等の損失など、減損損失として2億8千9百万円（連結）、2億8千8百万円（個別）、固定資産除却損として1千6百万円（連結）、1千3百万円（個別）、賃貸借契約解約損として1千4百万円（連結・個別）を計上することとなりました。

これにより、当期の特別損失の合計額は3億2千万円（連結）、3億1千6百万円（個別）であります。

※ 上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上